



Le Journal de l' Etoile.

暁星中学に入学して

私が少し大きい制服に袖を通し、不安につつまれつつも入学式に出席したのは今年の春ですが、昨日のことのように思い出せます。もう一年たったとはにわかには信じがたいです。

さて、ここでは僕が暁星中学に入って感じたことを話していきます。

まず一つ目、入学後の交友関係についてです。皆さんが心配していることは、おそらく付属小学校の生徒との距離感でしょう。私も入学する前はお金持ちっぽいイメージで怖いなぁと思いながら生活していたことを覚えています。ですが入学してみるとそんなことはなく、2週間ほどですぐに打ち解けられます。友人関係に関しては心配しなくていいです。

二つ目は、勉強についてです。暁星では、フランス語を勉強します。英語とフランス語の二ヶ国語を学ぶことは大変ではないかと思っていましたが、その両言語に共通する部分もあって楽しいです。

三つ目は部活について。これが学校生活の中で僕を感じる一番楽しいことです。僕は音楽部に所属しているのですが、同じことに対して頑張る友人がいるということは、どの部活にも共通するいいところだと思います。暁星は男子校なので、その傾向が強いと思います。(中2S・S)

クラスメイトと友達

中学校に入学しておよそ一か月が経とうとしています。入学当初は初めて会ったクラスメイトとどうコミュニケーションをとればいいのかかわからず、小学校で一緒だった友達とばかり話していました。でも今は積極的に自分から話しかけ、もっと相手のことを知りたいと思うようになりました。それはきっと、白樺校外合宿での二泊三日を通してたくさんのクラスメイトと関わり、互いを知り、認め合うきっかけを作ることができたからだと思います。

合宿一日目の伝達ゲームでは、言葉を話さずグループで1つのパズルを完成させるということに挑戦しました。一見簡単そうに思いましたが、ゲームを始めてその奥深さを感じました。相手が何を思い、何を感じ、どう行動したいのか、言葉ではなく表情やアイコンタクト、ジェスチャーで分かり合うことの難しさを知ったからです。このゲームを通して、友達がどんな気持ちでいるのかを察し、気持ちを汲み取ることの大切さを改めて学びました。また、合宿二日目の体育館でのドッチボールでは、勝ちをめざして作戦をたて、協力し合うことでグループの結束力がさらに強くなりました。

この合宿を通して、新しい友達の気持ちを考えて行動することの大切さを感じました。そして、このクラスの一員になれたことをうれしく思います。これからさらにクラス一団となって、たくさんのことを共有し、素晴らしい思い出を作っていきたいと思います。(中1T・I)